

# 2010 関西トレセン U-14 リーグ第3節活動報告

【報告者】 土井和則 (和歌山県トレセンスタッフ)

日 時: 2010年10月24日(日)

会 場: 堺市立ナショナルトレーニングセンターS8ピッチ(人工芝)

和歌山県トレセン U-14 参加選手			
背番号	氏 名	ポジション	所属チーム名
1	増 田 嵩 人	GK	H.L.P デポルターレ U-15
2	西 川 拓 良	MF	岩出F C . AZ UL
3	南垣内 萌 生	MF	F C 和歌山VI VO
4	田中エリキ優一	MF	セレッソ大阪和歌山 U-15
5	平 田 朋	MF	F C 和歌山VI VO
6	野 口 裕 人	MF	H.L.P デポルターレ U-15
7	狗 卷 遼	DF	ミラグロツソ海南S C
8	上 須 啓 太	MF	セレッソ大阪和歌山 U-15
9	畔 取 舜 介	DF	F C 和歌山VI VO
10	大 野 聖 人	DF	セレッソ大阪和歌山 U-15
11	西垣内 佑 亮	F W	近畿大学附属和歌山中学校
12	梶 川 恭 佑	DF	田辺市立 東陽中学校
13	岩 橋 佑 真	F W	F C 和歌山VI VO
14	宮 田 日 向	F W	岩出F C . AZ UL
15	夏 目 一 総	MF	H.L.P デポルターレ U-15
16	立 川 小太郎	GK	白浜町立 富田中学校
17	矢 田 雄 也	MF	H.L.P デポルターレ U-15
18	加 佐 怜 人	MF	セレッソ大阪和歌山 U-15

※2 番 西川拓良 怪我のため見学、17 番 矢田雄也 怪我のため欠席

テーマ: ・ 守備とも良い準備をする、攻守の切り替え

・ 勝負にこだわる(ゲームも局面も)

攻撃: 縦にボールを運ぶ→常によく観てゴールの近いところに、offの選手はボールに顔を出す

on、off 常にゴールを意識して目指す

厳しいところでもしっかりパスをつなぐ

守備: 1対1で負けない

ゴールを守る

1stDF 決定、カバーの意識、チャレンジ&カバーを繰り返す

厳しいところこそポジションをとって良い準備

切り替えを早くして、いけるなら前からのDFで奪う

インターセプトを狙う

相手を簡単に前に向かせない

11:00 kick off(30分-5分-30分)

和歌山県ト レセン U-14 対 大阪府ト レセン U-14

3  $\left[ \begin{array}{cc} 2 & - & 0 \\ 1 & - & 3 \end{array} \right]$  3



〈交代〉

時間	OUT	IN	備考
30分	④ 田中	⑤ 平田	
30分	⑥ 野口	⑮ 夏目	
30分	⑬ 岩橋	⑭ 宮田	
30分	⑱ 加佐	⑧ 上須	

〈得点〉

時間	チーム	得点者	得点経過(～:ドリブル →:グラウンダーパス ◯:浮き球パス ×:混戦 S:シュート H:ヘディング)
4分	和歌山	⑪ 西垣内	(左)③→(中央)⑪右足S
19分	和歌山	⑪ 西垣内	(左)⑨→(中央)⑪右足S
33分	大阪	⑯	GKキャッチミス(中央)⑯右足S
55分	和歌山	⑪ 西垣内	(中央)⑦→(右)⑭→(中央)⑪右足S
58分	大阪	⑥	(中央)③→(中央)⑥右足S
59分	大阪	⑮	(中央)⑭→(中央)⑮右足S

【成果】

○「積極的にボールを奪う」という意識があり、前線の選手が連続してプレスをかけ、中盤でチャンスを逃さずボールを奪う(縦パスへのインターセプト)ことができた。

⇒得点

○トップの動き出しのタイミングからオフでゴール前の状況を観て、積極的に相手の裏のスペースに飛び出しゴールを奪う。

【課題】

- 1対1の相手に対して近くで守れる守備者が少なく強さが発揮できない。また、取りどころや誰が取るのかが明確でなく、ボールを奪えない。
- ファーストディフェンダーの決定や相手のプレー制限からセカンドディフェンダーのポジショニングと追い込みを変化する中で的確に行う。縦のカバーからゴールに近づくほど横のカバーでしっかり対応する。
- 競り合いながらヘディングをパスにできない。
- ゴール前で奪ったボールを状況を観て、素早くつなぐのかクリアなのかの判断。
- サイドに展開された時、逆サイドの選手が中央への絞り込みが甘く、ゴール前中央で相手選手をフリーにしてしまう。
- サイドバックは縦への運動量を増やし、センターバックが釣り出されないように最後まで粘り強い守備をする。
- 勝っている状況の残り時間が少ない中での粘り強い守備。
- ボールを奪った直後に激しいプレッシャーを受けていないにも関わらず、状況を観て判断できていないためミスパスをして簡単にボールを失う場面が多かった。
- ボール保持者に寄りすぎない。距離をとって逆を考える。
- 横、斜めのパスで角度、方向を変えることによってディフェンスに変化を起こす。
- GKを含めたDFラインからのビルドアップを、パススピード、精度を伴って行えるように。

13 : 30 kick off (30分-5分-30分)

和歌山県トレセン U-14 対 ガンバ大阪 U-15

2  $\left[ \begin{array}{cc} 0 & - 2 \\ 2 & - 2 \end{array} \right]$  4



〈交代〉

時間	OUT	IN	備考
30分	③南垣内	④ 田中	
30分	⑧ 上須	⑮ 夏目	LMF⑪西垣内、FW⑩
30分	⑪西垣内	⑭ 宮田	
30分	⑱ 加佐	⑥ 野口	

〈 得点〉

時 間	チー ム	得点者	得点経過( ~:ドリブル →:グラウンダーパス ◯浮き球 パス ×:混戦 S:シュート H:ヘディング)
1 1 分	ガンバ	③⑨	(中央)⑭→(中央)③⑨右足 S
2 4 分	ガンバ	③⑤	(中央)③⑩パスカット →(中央)③⑤右足S
3 3 分	ガンバ	⑭	(中央)⑬→(左)⑭左足 S
3 8 分	ガンバ	⑭	(左)②Sリバウンド (中央)⑭右足 S
4 7 分	和歌山	④ 田中	(右)⑤→(中央)⑭~(左)④右足S
5 2 分	和歌山	⑬ 岩橋	(右)⑤→(中央)⑬右足 S

【 成果】

○

【 課題】

- 間合いや相手との駆け引きができていないため、寄せることはできてもそれを上手く利用され、寄せ過ぎてボールを注視できずに反転されてしまう。
- 間に入ってくる選手に対してのプレスが甘く、人はいるがボールにプレスがかからず、相手に自由にプレーされてしまう。
- ボール周りの選手が全員ボールに食いついき、相手、味方、スペースを視野に入れたポジショニングがとれずボールサイドにフリーマンをつくり、ワンタッチパスで簡単に突破されてしまう。
- ボールに近い選手がアプローチをかけ、もっと相手の近くで粘り強く対応する。特に中央では前を向かれてももっとよる。前方に簡単にパスを出されない。
- ボール保持者にプレスがかかっているのか、いないのかの状況を観ないでDFラインを引きすぎてしまい簡単にバイタルエリアを侵入されてしまう。また、守備ラインをどこに引くのか、ボールをどこで奪うのかを明確にできていなかった。
- フリーになっているのに、焦ってシュートしてしまったり、GKを観ずにシュートし防がれてしまう。
- GKボールに対して早く幅・厚みを意識した良いポジションをとる。
- 攻撃から守備への切り替えの意識を持ち、前の選手はボールを簡単に蹴らさないまた、後ろの選手は守備体制が整っていない状況にあるならば全力でポジションに戻る。